

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部（第2回）

議事録

日時：平成27年11月27日（金） 9：45－9：55

場所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、菅内閣官房長官、高市総務大臣、岩城法務大臣、岸田外務大臣、馳文部科学大臣、塩崎厚生労働大臣、森山農林水産大臣、林経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、石井国土交通大臣、丸川環境大臣・内閣府特命担当大臣、中谷防衛大臣、高木復興大臣、河野国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、島尻内閣府特命担当大臣、甘利内閣府特命担当大臣、加藤内閣府特命担当大臣、石破内閣府特命担当大臣、遠藤東京オリンピック・パラリンピック大臣、萩生田内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

【遠藤大臣】

ただ今から、「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」の第2回会合を開催いたします。本日は御多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございます。

今後、私の方で進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速、議事に入ります。議題の1から3まで、私からまとめて説明させていただきます。

《オリパラ基本方針（案）について》

まず、議題1の「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（案）」について、概要の資料1－1でご説明いたします。

本基本方針は、「平成32年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法」に基づき、大会に関連する政府の施策の立案と実行にあたっての基本的な考え方や、施策の方向について明らかにするものです。

まず、「1. はじめに」の大会の意義などについて、

- 大会を契機とした日本の再興と成熟社会における先進的な取組を示すこと
- 同一都市として史上初の2回目の開催になるパラリンピックとして、過去最多の参加国・地域数の実現を目指すこと
- 国際テロ・サイバー攻撃の脅威の高まりなどに対応した安全安心対策等、大会成功のための体制整備を行うこと
- 「復興五輪」と国民総参加による、日本全体の祭典を実現すること
- 強い経済、日本文化の発信、スポーツを通じた国際貢献、健康長寿・ユニバーサルデザインによる共生社会、生涯現役社会の構築に向け、大会の遺産（レガシー）を創り出すこと

等を示しております。

「2. 基本的な考え方」として、

- 国民総参加による「夢と希望を分かち合う大会」
 - 次世代に誇れる遺産（レガシー）の創出と世界への発信
 - 政府一体となった取組と関係機関の密接な連携の推進
 - 明確なガバナンスと施策の効率的・効果的な実行
- 等を示しております。

これに基づく、具体的な取組として、「3. 大会の円滑な準備及び運営」のため、セキュリティの万全と安全安心、輸送、暑さ対策・環境、新国立競技場の整備、競技力強化、アンチドーピング対策、教育・国際貢献を盛り込んでおります。

また、「4. 大会を通じた新しい日本の創造」のため、復興、地域の魅力、科学技術を世界にアピールし、地方創生・地域活性化等につなげるとともに、スポーツ立国の実現、文化の発信、健康増進・受動喫煙防止、ユニバーサルデザイン化等に取り組んでまいります。

以上が本基本方針の概要でございます。

《ホストタウンの推進について》

次に、議題2の「ホストタウンの推進」について資料2-1をご覧ください。

これまで「ホストシティ・タウン構想」を推進してきたところではありますが、「ホストシティ」という名称は、開催都市である東京都を想起させるということから、混同を避けるため、名称を「ホストタウン」とすることにいたしました。

については、資料2-2のとおり、関連会議の設置要綱の改正について、本日ご決定いただきたいと考えております。

《ラグビーワールドカップ2019の準備状況について》

次に、資料3をご覧ください。「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」については、会場の見直しと大会の開催日程が決定されたところです。

ラグビーワールドカップ2019を国として支援し、成功に導くため、閣僚の皆様におかれては、2020年東京大会との一体的な準備に配慮しつつ、積極的な取組をお願いいたします。

【遠藤大臣】

それでは、これまでの説明に対して、ご発言をお願いいたします。発言は事前登録のあった方から、お願いいたしますが、この後に閣議もあり時間も限られておりますので、簡潔にお願いいたします。

まず、①高市総務大臣、よろしく申し上げます。

① 高市総務大臣

本基本方針を踏まえ、総務省といたしましても、「多言語対応の強化、無料Wi-Fiの整備などの『社会全体のICT化』の推進」、「救急・防災対応」、「テロ対策、サイバーセキュリティの確保」等

に全力を尽くしてまいります。

東京大会の成功はもちろんのことですが、大会を契機とした地方創生及び我が国の更なる成長に向け、積極的に貢献してまいります。

② 馳文部科学大臣

大会成功のため、文部科学省として、スポーツ基本法に掲げる施策に全力で取り組んでまいります。また、ラグビーワールドカップ2019の成功に向けても、2020年東京大会と同様、閣僚各位の御協力をお願い致します。

③ 塩崎厚生労働大臣

本年9月、厚生労働省内に私を本部長とするオリパラ準備本部を設置いたしました。厚生労働省としては、オリパラ基本方針を踏まえながら、感染症対策の推進、外国人の方々が安心して医療サービスを受けることができる体制の整備、おもてなしの環境づくりのための受動喫煙防止対策の推進等、担当する各種施策を着実に実施していききたいと思います。

④ 石井国土交通大臣

大会まで5年を切りまして、国土交通省いたしましても、その準備とスムーズな運営のため、空港や道路などの輸送対策、バリアフリー、外国人旅行者の受入れ環境、防災・セキュリティ対策等の面で、東京都とも密接に連携して対応してまいります。

また、大会を契機としまして、地域の魅力向上や観光振興に取り組み、海外の方を各地域に呼び込み、元気な地方を創っていくことにも取り組んでまいります。

⑤ 丸川環境大臣

環境省といたしましては、2020年東京大会を契機に環境配慮が進むよう、東京都とも連携をして、低炭素化の推進、暑さ対策、3Rの促進、水素・燃料電池の活用等の取組を進めてまいります。

⑥ 高木復興大臣

大会の開催が東日本大震災からの復興の後押しとなるよう、被災地での聖火リレーや事前キャンプの実施、一部種目の開催、また東北の観光の振興など、被災地と連携した取組を推進してまいります。

また、岩手県釜石市がラグビーワールドカップの会場となっており、円滑な開催に向けた支援を行ってまいります。

⑦ 河野国家公安委員会委員長・行政改革担当大臣

最初に国家公安委員会委員長として、厳しい国際テロ情勢の下、関係機関等と連携し、万全な警備に向け、情報収集・分析の強化、水際対策の強化、警戒警備の徹底等の諸対策を推進してまいります。

次に行革担当大臣として、先般の行政事業レビューにおいて、東京オリンピック関連として予算要求されている事業について、厳しい指摘が行われました。そうした予算が形を変えて、あるいはそのまま復活しないように、厳しくお願いをしたいと思います。各府省におかれては、レビューで取り上げていない事業についても、国民の理解を得られる内容となっているか、必要に応じ見直しをお願い

いたします。

⑧島尻内閣府特命担当大臣

2020年のオリパラは、我が国の科学技術を世界に発信する、またとないチャンスです。関係省庁や東京都等と連携し、自動走行技術の活用による次世代都市交通システムなど、様々な科学技術を発信できるよう取り組みます。

【遠藤大臣】

ありがとうございました。時間の関係上、発言はここまでとさせていただきます。

続いて、決定事項の確認を行いたいと思います。本日お諮らせていただいている決定事項について、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございました。御異議なしということで、本案を決定させていただきます。それでは、ここでプレスが入室します。

[プレス入室]

【遠藤大臣】

それでは安倍内閣総理大臣からご挨拶を頂きたいと存じます。よろしくお願いいたします。

【安倍内閣総理大臣】

先ほど、オリンピック・パラリンピック大会に向けた、政府の基本方針を決定しました。この方針に基づき、国民総参加による「夢と希望を分かち合う大会」の実現、そして、次世代に誇れる「レガシー」の創出のため、大会準備を加速させる必要があります。

中でもセキュリティは重要です。パリやアンカラ、また ロシア旅客機の悲惨なテロは、世界に衝撃を与えました。選手や観客、国民の安全安心のため、政府を挙げて、テロ対策・サイバーセキュリティ対策に万全を尽くします。

パラリンピックについては、史上最大の参加国数を実現し、ユニバーサルデザインによる共生社会への弾みとします。

さらに、大会が「復興五輪」として、被災地の復興の後押しとなるとともに、2020年に向け、多様な日本文化の魅力を、国内外に発信してまいります。また、大会は、健康増進に取り組む弾みとなるものであり、大会に向け、受動喫煙対策を強化してまいります。

ラグビーワールドカップ2019についても、しっかりと準備を進めていく必要があります。

閣僚の皆さまには、組織委員会、東京都、関係自治体と密接な連携を図り、オールジャパンで大会を成功に導くよう、さらにご尽力をお願いいたします。

【遠藤大臣】

総理、ありがとうございました。それでは、報道関係者はここで退場を願います。

[プレス退室]

【遠藤大臣】

本日の会合はこれで閉会とさせていただきます。

本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定しておりますので、ご了承ください。

また、オリパラ基本方針については、この後、閣議で閣議決定を行います。大会の成功に向けて、引き続きご理解・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。本日はありがとうございました。